

のがみ公民館たより

発行：2026（令和8）年8月、野上公民館

「ボッチャ」やってみませんか！！

パラリンピックで採用されている競技のボッチャ。

道具も少なく誰でも楽しめるおすすめのスポーツです。

【ボッチャってどんな競技？】

ボッチャは、白い目標球「ジャックボール」に向かって、赤と青のボールを投げたり転がしたりして、どれだけ近づけられるかを競うスポーツです。もともとは重度の障がいがある人のためにヨーロッパで考案され、今はパラリンピックの正式競技であり、障がいの有無や年齢に関係なく楽しめます。

【基本ルールのイメージ】

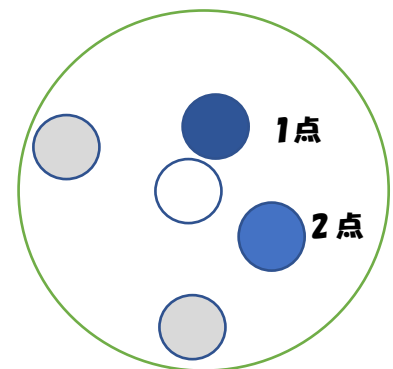
- ・赤チームと青チームがそれぞれボールを6球ずつ使います。
- ・先攻が白いジャックボールを投げ、そのまま1球目も投げる
- ・以降は、ジャックボールから「遠い側」が次のボールを投げる
- ・両方が6球ずつ投げ終わったら、そのエンドの得点を計算します。

【得点の入り方】

- ・エンドの最後に、ジャックボールに一番近いボールを持っている色だけが得点します。
- ・相手のジャックボール一番近いボールよりも近い自分のボール1球ごとに1点が入ります。

【誰でも参加しやすい理由】

- ・投げてもいいし、転がしてもいい
- ・重い障がいがある人はランズと呼ばれる勾配具を使って参加できる
- ・ルールがシンプルで、戦略を考える面白さがある
（相手のボールに当てて遠ざけるなど。）



☆今年度、ボッチャが町民スポーツ大会の種目に採用され、試合が開催されます。

ボッチャ、やってみませんか。

やってみようかと思う方は、野上公民館
(77-6810)井上まで！！

【裏面もお読みください】



お盆と言えば、日本の仏教行事ですが、日ごろ何気なく使う言葉にも、仏教が由来のものがあります。その一部を紹介します。

【よくある言葉】

言葉	現在の意味	元の意味
挨拶	あいさつすること	禪問答のやりとり
安心	心が落ち着くこと	仏の教えで心が定まること
我慢	こらえること	自分へのとらわれ
玄関	建物の入り口	悟りへ入る大事な入口
有頂天	浮かれすぎること	天上界の高い世界
迷惑	困ること	心理を見失って迷う事
諦める	断念すること	物事を明らかに見ること

まだまだ、たくさんの言葉がありますが、これだけでも今の意味と元の意味が関連するものや違っているものがあることが解りますね。

日本語には、仏教だけでなく、中国由来の漢語や外来語が多く混ざっています。そのため、語源をたどると、昔の暮らしや外国との交流まで見えてきます。

ことばの成り立ちを知ると、意味の見え方も深まり、記憶に残りやすいと言われています。頭の体操になるかも。

